

発泡樹脂製

ベッドと間仕切り

内山工業開発 医療機関や 自治体向け

自動車部品など製造の内山工業（岡山市中区小橋町）は、発泡樹脂製のベッドは、自動車バ



裏返して組み立て中のベッド。1人で簡単に設置できるという

脂製の簡易ベッドとパーティション（間仕切り）を開発した。新型コロナウイルス感染症で医療物資のニーズが高まっていることから、医療機関や自治体向けに受注生産する。



コの字形に組み合わせたパーティション

る軽量で強度の高い発泡ポリプロピレン製の組み立て式で長さ200センチ、幅98センチ、高さ30センチ、重さ約5キロ。布団やマットを敷いて使用する。仮設病院や災害時の避難所などの利用を想定。

浮力があり、浸水の際はフロート（浮具）としても使えるという。パーティションは、断熱材などに用いる発泡ポリスチレン製。縦70センチ、横40センチ、厚さ1・5センチが基本で、要望に応じた変更が可能。連結させて横長にしたり、コの字形に並べたりできる。

透明アクリル板の窓が付いたタイプもある。医療機関の窓口やオフィスの机などに設置し、対面する人同士の感染を防ぐ。自動車部品で培った樹脂成形の技術を生かして開発した。グループの東洋コルク（竹原市）で製造する。内山工業は「簡単に

組み立てられ、使わなくても売り込んでいきいときはコンパクトに「たい」としている。（伊東圭一）